さがみはら産業創造センター 編集・発行

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 ― 地域版 ―

発行 No. 75

発行日：令和3年11月15日(月)
(2021年)

地域企業紹介 その 75

オーセンテック株式会社

「製造業から手作業をなくそう」をコンセプトに“社員が子供を働かせたい会社”を目指して！

バリ取り機、洗浄機、ロボット・IoTシステム、その他周辺機器の製造・販売を行っているオーセンテック株式会社の代表取締役社長である髙田全（ぜん）社長を相模原市緑区長竹にある神奈川テクニカルセンターに訪ねました。

オーセンテック株式会社は、髙田全社長の父である髙田浩氏（現会長）によって、タレットパンチプレスのレトロフィット、移設、改造、修理等メンテナンス事業を営む会社として2002年8月に法人設立された。社名の由来は、Authentic（本物、正真正銘、信頼、正統派）とTechnology（科学技術、工業技術、応用科学）を組み合わせた造語で、「本物・誠実・信頼の精神を育んだテクノロジーを提供する会社＝Authentec」が由来だ。

現在、バリ取り機、洗浄機、ロボット・IoTシステムの3部門を事業の大きな柱としており、売上構成はバリ取り機50%、洗浄機40%、ロボット関連10%となっている。そんなオーセンテックの特徴の一つは、幅広い製品ラインナップだ。主力製品であるバリ取り機は、2009年に自主開発された「AuDeBu（オーデブ）1000」の発売以来、お客様のニーズや要望を積極的に取り込み、自社独自の「AuDeBuシリーズ」として様々な機種を世に送り出している。この「AuDeBu」とは、Authentec Deburring Machine（オーセンテック・デブリング・マシン）の組み合わせから生まれたブランド名。また、洗浄機はバリ取りの後工程として、バリ取り機と連携させることで粉塵拡散を防ぎながらワーク上下表面の洗浄を1回で行える洗浄機だ。バリ取り後の粉塵の拭き取り作業をなくすことに役立っている。さらに、出荷の際の仕分け作業などを軽減するワーク回収ロボット「AuDeBu1002 Robot」は、搭載カメラにより製品形状、位置、角度を自動認識し、ロボットアームが自動でワーク（製品）を回収するもので、作業者の移動をなくすことで無駄な動作を軽減することができるというもの。ものづくりにおいて、「バリ取り」は大切な仕上げに関わる重要なパート。安全性や耐久性をはじめ、きれいで精度の高い良い製品をつくるためには欠かせない。メンテナンスを主事業としてきた同社ならではの高い技術力が、提供する製品群に最大限込められている。

「お客様の声をアイデアに、お客様の笑顔を力に、“ものづくり”に貢献する会社でありたい。そして社員が自信を持ち挑戦し続けることを誇りとしたい」という企業理念を掲げ、「製造業から手作業を

代表取締役社長	：髙田　全（たかた　ぜん）
所　在　地	：[本社] 神奈川県相模原市南区相模大野 3-3-2-225 [神奈川テクニカルセンター] 神奈川県相模原市緑区長竹 424-1
従業員数	：22 名
資　本　金	：1,000 万円
事業内容	：バリ取り機・洗浄機・ワークロボット等の製造・販売
URL	：https://authentec.jp/

（表面からつづく）

なくそう」をコンセプトに、作業者であるお客様の声から新たな製品開発につなげている。そんな同社では、企画開発の専門部署はなく、営業担当者がお客様の「困りごと」を本質から細かく聞き取ることに力を入れている。社交辞令的に聞くのではなく、とことん追求する営業マンの高いスキルが、オーセンテックの大きな強みになっているのだと髙田社長は言う。

そんな髙田社長は、相模原市南区松が枝町の出身。小学生の頃は、野球が大好きな“わんぱく少年”だったそうだ。子供のころから好きな科目は数学という髙田社長は神奈川大学理学部へ進学。学生時代は学業とともにテニスに熱中、テニス教室のプロ育成クラスでコーチをするほどの腕前だ。大学卒業後は大手電子機器メーカー（プリンター）に10年近く勤務。その後、機械の勉強とグローバル経済で必要な英語力をつけるために米国企業に転職した。渡米後、半年ほどで英語が話せるようになり、デトロイト、シカゴなど全米の日系企業を営業で回った経験を持つ。この経験により英語力はもちろん、海外ビジネス展開や外国人雇用に関するノウハウを身に付けることができたそうだ。2014年、オーセンテックに営業担当者として入社。2018年には、父浩氏より事業承継し代表取締役社長に就任した。

今後の新たな事業展開として、「CRM（顧客関係管理）とSFAの導入による商談管理（売上・進捗・確度・情報共有）や顧客管理（純正率・リプレイス時期）、メルマガ配信、HPと連動した「足跡追跡」なども独自の管理システム構築。IoTを活用した純正品の稼働把握（消耗品にRFIDチップを埋め込む）。オンラインシステムを活用したスキル伝承システムの実用化。新製品投入サイクルを1台/年とした製品開発戦略などを盛り込んだ事業構想を打ち出している。同時に「SDGs」の趣旨に賛同し全社一丸となって取り組むなど積極果敢な事業展開で、入社当時は6名だった社員数も22名まで増えた。最近ようやく社長としての仕事ができるようになったという髙田社長は、シルバー人材の活躍の場を作り出すために新会社設立計画を進めているのだとか。そして、オーセンテック創設50周年（2052年）に向けて、「社員が自分の子どもを働かせたい」と思える会社にしていきたいと熱く語る。

これからも「ものづくり」に貢献する会社として、さらに成長し挑戦し続けていくオーセンテックの髙田社長と社員の皆さんに心から熱いエールを贈りたい。

バリ取り機 AuDeBuCX

中小企業でも導入できる協働ロボットとアプリケーション開発!!

入居企業紹介
76
ABB株式会社

世界4大産業用ロボットメーカーのひとつで、スイスに本社を置くABBグループの日本法人であるABB株式会社のアプリケーション・センター東日本 水谷博樹センター長にお話を伺いました。

ABB社は、①エレクトリフィケーション事業本部、②プロセスオートメーション事業本部、③モーション事業本部、④ロボティクス＆ディスクリート・オートメーション事業本部の4事業部に分かれています。SICには、ロボティクス事業の拠点として、2019年9月より、SIC-2 R&D Lab.に入居しています。

同社では、軌跡精度が高い6軸ロボットやパラレルリンクロボットなど、様々なロボットを展開しています。その中でも、双腕型協働ロボット「YuMi（ユーミィ）」は、ABBを代表するロボットとして、多くの企業で導入されています。YuMiは、軽量かつ高精度で、専用のプログラミングソフトRobotStudioによってより直感的な操作を支援しています。また、安全柵が不要で、100Vの電源で使用できる利便性の高さも大きなポイントです。さらに、汎用性が高くカスタマイズも簡単な標準ハンドが装備されている点も他にない特長です。同社では、ロボット単体を含むアプリケーション開発にも取り組んでおり、現場・作業に応じたシステム提案を行っています。

その他、単腕型の「Single-arm Yumi」も展開しているほか、今年新たに「GoFa（ゴーファ）」や「SWIFTI（スイフティ）」を発売するなど、幅広い協働ロボットをラインナップしています。

まず、「Single-arm Yumi」は、床置だけでなく、壁掛や天吊などによる設置も可能なため、生産ラインに合わせて柔軟に設置方法を選択できる点が、双腕型のYuMiにはない特長です。次に、「GoFa」は、可搬重量が5kg（YuMiは500g可搬、SWIFTIは4kg可搬）で、同社の協働ロボットの中で最も「力持ち」のロボットです。力を検知するトルクセンサが各軸に搭載されているため安全性も高く、各軸にかかる荷重などを最適化して加減速を制御する技術も取り入れられています。そして、「SWIFTI」は、一般的な産業用ロボットがベースとなっており、最高速度は毎秒5m（YuMiは毎秒1.5m、GoFaは毎秒2.2m）を誇るなど、同社の協働ロボットの中で最も「速い」ロボットです。

最近では、YuMiと周辺機器、架台などが一体となったパッケージシステムも提供しており、ロボットシステムの立ち上げ工数を大幅に削減できるようになりました。同社の協働ロボットは中小企業でも導入可能であり、それを後押しするための手厚いサポート体制も構築しています。

SICのラボでは、「ロボット導入の検討・設計・据付・アフターサービス」の業務を行っています。検討段階では、シミュレーションソフトによって生産現場を再現し、ロボット導入効果を可視化する取り組みにも力を入れています。例えば、自動化ニーズが高まっている食品分野では、多様なモノを掴んだり、運んだりするため、様々なハンドが必要となることから、ときには日曜大工的な工作を行うこともあります。

ABB社では、ロボットの選定からアプリケーション開発、そしてアフターサービスに至るまで、ユーザー目線を貫きながら、ロボットを活用した顧客の課題解決に貢献していきます。

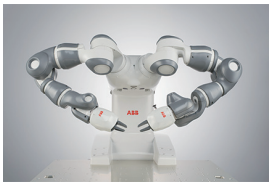
双腕型協働ロボットYuMi

ABB 株式会社
SIC-2 R&D Lab. 2211 号室（ラボ：2113・2114 号室）
https://new.abb.com/jp

特別連載 「社会保険労務士の現場から」（全3回）

第3回　新型コロナウイルス感染症の収束後について

ワクチン接種の効果が出ているのか、収束しているように見える新型コロナウイルスですが、最終回は、コロナ収束後のこと、社会保険労務士と雇用調整助成金についてお話ししたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の収束後について

10月に入ってから、ワクチン接種の効果が出ているのか、コロナの感染者数が減ってきているように見えます。そこで、そろそろ考えておかなければならないのは、コロナ収束後についてです。コロナで企業も従業員も非常に疲弊しましたが、そこに追い打ちを掛けるように、コロナ収束後は、圧倒的な人手不足が襲ってくることが予想されます。ですので、現在雇用している従業員の流出（離職）を防ぎ、人手不足への対応を考えなければなりません。残業で補おうにも、法律により、時間外休日労働については上限規制がありますので、無制限に残業をさせることは出来ません。今のうちから対応を考えておかないと、せっかく来た仕事を断わらなければならないこともあり得ます。コロナの第6波も気になり、今はそこまで考えが回らないのもわかりますが、先を見据えた採用行動が必須となります。

雇用調整助成金と社会保険労務士について

今回、社会保険労務士に助成金申請を依頼しようとしたが、顧問契約をしていないので、断られたという方もいらっしゃるかもしれません。なぜ、社会保険労務士が断る事例が多かったかというと、顧問先以外には手が回らなかったということもありますが、本当の理由は雇用調整助成金の申請書の中に、社会保険労務士等の代理人について、故意に不正受給に関与していた場合（偽りその他の不正の行為の指示やその事実を知りながら黙認していた場合を含む。）は、①申請事業主等が負担すべき一切の債務について、申請事業主と連帯し、請求があった場合、直ちに請求金を弁済すべき義務を負うこと、②代理人等に係る事務所の名称、所在地、氏名及び不正の内容が公表されること、③不支給とした日または支給を取り消した日から起算して5年間は、助成金に係る代理人等が行う申請又は提出代行、事務代理に基づく申請ができないことについて承諾します。という記載があります。スポットの依頼の場合は、どうしても日々の信頼関係が築けていないので、この連帯保証人のような文言で、二の足を踏む形となりました。「不正行為又は不正を黙認していなければ、良いのでは？」とお考えの方もいらっしゃるかと思いますが、やっていないことの証明は非常に難しいです。

コロナ禍で、申請する事業主様の中には、従業員を働かせているのに助成金を申請して不正に手を染めてしまう方がいます。経営が厳しい中なので、非常に魔が差しやすい状況及び性質のある助成金を連帯保証人として申請する勇気のある社会保険労務士がどれだけ居るのかと思います。皆様にはご迷惑をお掛け致しましたが、このような理由が背後にはありました。今後、こういう状況の際でも、社会保険労務士会や各種公共団体等で出張相談や無料相談会を行っている場合がありますので、ご利用頂ければと思います。それでは、希望も込めて、一丸となってコロナに打ち勝ち、働きやすい職場環境を形成していきましょう。

鈴木道士行政書士・社会保険労務士事務所
代表　鈴木 道士

大学卒業後は都内の建設会社に入社し、都営地下鉄大江戸線の現場監督などを担当。その後、平成 11 年に社会保険労務士の資格を取得。資格予備校での講師業を経て平成 18 年に独立開業。以後、人事・労務の専門家として、地域の企業・経営者の支援に取り組んでいる。

SIC 食のさんぽ道

caféと雑貨の店 ごろにゃん

JR相模線相武台下駅から徒歩5分。住宅街の一角にある「caféと雑貨の店ごろにゃん」にお邪魔しました。自宅を改装したカフェでは、店主の細田さんと6匹の飼い猫達が出迎えてくれました。

カフェに彩をそえるアクセサリーや猫モチーフの小物、猫向けグッズなど様々な手作り雑貨は販売もしています。最新の雑貨やイベント情報はInstagramで。なお来店は予約制となります。

細田さんはNPO法人“ざま野良猫を増やさない会”で、野良猫をこれ以上増やさない活動とともに保護した猫の里親探しをしています。猫に興味のない人が猫好きになる場になって欲しいとの思いから開業したお店。細田さんの明るい雰囲気と居心地の良い空間で、自慢の自家製ドリンクとともにホっと一息ついてはいかがでしょう？（佐藤）

自家製のシソジュースとジンジャーエール
これからの季節は黒糖ジンジャーラテがおすすめ

看板娘のきいちゃんと販売しているアクセサリー

店主の細田さんと猫達のかかれた看板

所在地	神奈川県座間市座間1-3275-6
営業時間	11:00～16:30　※予約制
定 休 日	木曜日・日曜日 ※臨時休業あり
TEL	090-1505-2440
Instagram	@seechan_meisakukai

SIC 事業紹介　開催内容等、詳しくはSICホームページをご覧ください。

ビジネスと経営の実践者が語る経営者セミナー
「売上を 20 倍にして債務超過から脱却 2 代目経営者の変革への挑戦！」

【講　師】　株式会社静科 代表取締役 高橋 俊二 氏
【日　時】　令和 3 年 12 月 2 日（木）16 時～ 18 時
【会　場】　オンライン開催（Zoom ウェビナー）
【参加費】　無料
【申込方法】　FAX または WEB サイトより
【問い合わせ】　事業創造部　金澤・花摘・中村

The HINT53（SICミニセミナー）
「融資事例 & 現場の生の声で知る !!
日本政策金融公庫の “ 創業・新事業支援 ”」

【講　師】　日本政策金融公庫 南関東創業支援センター・新事業室
【日　時】　令和 3 年 12 月 9 日（木）15 時～ 16 時 30 分
【会　場】　オンライン開催（Teams）
【参加費】　無料
【申込方法】　FAX または WEB サイトより
【問い合わせ】　事業創造部　樽川

サガツクナビ KAIMAMI
「地元企業・相模原市役所と地元学生との交流会」

【日　時】　令和 3 年12月 21 日（火）
14 時 30 分～ 17 時 30 分（予定）
【会　場】　ハイブリッド開催
※サン・エールさがみはら 第 1 研修室
または　オンライン（Zoom）
【参加費】　22,000 円（税込）
【申込方法】　E-mail にて（詳細はWEBサイト参照）
【問い合わせ】　事業創造部　上野

2021.12　SIC EVENT CALENDAR　イベントカレンダー

令和3年12月2日（木）	経営者セミナー
令和3年12月6日（月）	DX化推進フォーラム
令和3年12月9日（木）	The HINT53（SICミニセミナー）
令和3年12月14日（火）	ロボットシステム 改善・リニューアルのすすめ
令和3年12月21日（火）	地元企業・相模原市役所と地元学生との交流会

SIC空室情報（令和3年11月15日 現在）※お気軽にお問い合わせください。

	部　屋	空室数	賃料/月額（共益費込・消費税込）
SIC-1 Startup Lab.	○スモールオフィスA（23.6㎡）	1 ※1	86,570円
SIC-3 Innovation Lab.	○オフィスB（21㎡）	1 ※2	50,820円

※1　令和4年2月より入居可能　※2　令和4年4月より入居可能

相模原市 Sagamihara City　DX 化推進フォーラム
～中小企業のデジタル活用～

【内　容】　1. 基調講演「DX による “ 稼ぐ力の鍛え方 ” 及び関連支援策について」
2. ベンダーによる DX の考え方・ソリューション紹介
3. 飲食・サービス業における DX の考え方・事例紹介
4. ユーザー企業の導入事例紹介
【日　時】　令和 3 年 12 月 6 日（月）14 時～ 16 時
【会　場】　オンライン開催（Zoom ウェビナー）
【参加費】　無料
【申込方法】　FAX または WEB サイトより
【問い合わせ】　事業創造部 金澤

さがみはらロボット導入支援センター
「既存設備の見直しで生産効率アップ！
ロボットシステム 改善・リニューアルのすすめ」

【講　師】　三菱電機システムサービス株式会社
【日　時】　令和 3 年 12 月 14 日（火）13 時 30 分～ 16 時
【会　場】　オンライン開催（Zoom ウェビナー）
【参加費】　無料
【申込方法】　WEB サイトより
【問い合わせ】　事業創造部　樽川・花摘

SIC × 中小機構（中小企業大学校 サテライト・ゼミ）
「マネジメント人材育成と組織力強化の進め方」

【講　師】　東京保健医療専門職大学　教授
事業構想大学院大学　客員教授　片岡 幸彦 氏
【期　間】　令和4年2月9日（水）～ 3 月 16 日（水）全 4 回
【会　場】　サン・エールさがみはら 第 1 研修室
【参加費】　25,000 円（税込）
【申込方法】　FAX または WEB サイトより
【問い合わせ】　事業創造部　樽川

詳しくは、SICホームページをご覧ください。
https://www.sic-sagamihara.jp

編集後記

SDGsの趣旨に賛同するオーセンテックは、神奈川県や相模原市のSDGsパートナーにも認定されています。実際に、職場環境改善や廃棄物削減などに取り組むほか、売上の一部を自治体や人道支援団体、環境保護団体などに寄付する活動も行っています。取材を通して、常に未来を見据える髙田社長の眼差しは、社内はもちろん、地域や社会全体にも向けられていると感じました。

（株）さがみはら産業創造センター（SIC）
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119　FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想をお待ちしています。

ウェブサイト https://www.sic-sagamihara.jp/

デザイン　DESCL 株式会社デスケル